

令和4年度 第15回全体庁議（11月7日開催）

区分	審議・報告	案件名 [担当部]	(1) 十勝・帯広の高等教育の充実に向けたこれまでの取り組みについて [政策推進部]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

十勝・帯広の高等教育の整備・充実に向けた取り組みについては、平成23年度の方針転換から10年が経過しており、今後の取り組みの在り方を検討するにあたって、これまでの取り組み内容と成果をまとめたため、令和4年11月21日の総務委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 目的

平成23年度の方針転換から10年が経過したことから、これまでの十勝・帯広の高等教育の整備・充実に向けた取り組みを確認する。

2 高等教育の取り組みに関する方針転換

(1) 平成22年度までの取り組みの検証

「新たな大学整備」については、公私協力方式に優位性があるものとして、私学法人の誘致に取り組んできたが、その実現はできなかった。

(2) 平成23年度の方針転換の趣旨

帯広畜産大学を核に地域特性・優位性を活かし、まちづくりと連動させながら、段階的に高等教育機関の整備をすすめる取り組みへ方針転換する。

(3) 方針転換後の取り組みの方向性

○帯広畜産大学を核に、様々な教育・研究を通じた知の拠点の形成を目指すため、十勝・帯広の地域特性・優位性である「食」や「農業」を活かし、フードバレーとかちの展開方策と動きを合わせて、地域で活躍する人づくり、国内外の大学や企業、人材の集積など、高等教育周辺環境づくりを進める。

○取り組みの成果を土台に、帯広畜産大学の学部・学科・大学院、新しい大学・学部・学科・大学院など、地域が必要とする高等教育機関の具体的な形を整理し、新たな高等教育機関の整備に向けた取り組みを進める。

3 方針転換後の主な取り組み

(1) 地域で活躍する人材育成 (2) 国内外の大学との連携 (3) 企業、人材の集積 (4) 人材の活躍の場・環境づくり

○とかち高等教育推進まちづくり会議における協議内容

【地域の発展に特に重要な人材像】

地域資源を活かした新たな価値の創造に中核的な役割を担う経営者・経営幹部などのリーダー人材の育成プログラムを検討

【具体的な検討テーマ】

- ・食安全管理のスペシャリスト養成
- ・アグリ・フードビジネスのマネジメント人材養成
- ・地域連携による国際水準の獣医師養成
- ・人材の活躍の場・環境づくり

4 取り組みの総括

これらの取り組みから大学と地域の接点が増え、十勝・帯広のまちづくりと大学との連動が進むことで、十勝・帯広の知の拠点形成が推進されるとともに、地域の成長に寄与してきたと考える。一方、地域が必要とする高等教育機関の具体的な形の整理には至らなかった。

今後は、今回の取り組みの総括や大学を取り巻く環境の変化を踏まえ、十勝・帯広の高等教育の取り組みの在り方について検討する必要がある。

■ 今後のスケジュール

- ・ 令和4年11月21日 総務委員会
- ・ 令和5年1月 とちかち高等教育推進まちづくり会議  
(今後の十勝・帯広における高等教育の取り組みの在り方(案)について)
- ・ 令和5年2月 総務委員会  
(今後の十勝・帯広における高等教育の取り組みの在り方(案)について)

■ 審議結果

- ・ 同内容で、11月21日開催の総務委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし